

ボランティア通信 No. 1

2022年 4月12日（火）発行

3月下旬、古河二高生が初めて、子ども食堂にボランティアに行きました。

ボランティアの内容

- ・お弁当づくり 【 ちらし寿司をパックに詰める→ブロッコリー→お肉→卵(錦糸卵) →桜でんぶをかける 】
 - ・お弁当を取りに来た子どもと遊ぶ 【じゃんけん。話相手など。】
- ※アンケート調査も実施しました。



感想

- ・触れ合えて楽しかったからまた行ってみたい!
- ・次行く時は寄付品も持って行きたいな...(ぬいぐるみ、食品 etc...)
- ・「実家のような安心感」
子ども食堂の運営者の人たちは、優しく、親切で、明るい方ばかり! 親しみやすく話していたのしかったです。
あの場所は居心地がよくとても明るい空間でした。
- ・「子ども食堂は子どもとのふれあいの場」
子ども食堂は人と人との関わりの場でもある。子ども食堂に来てくれた子どもたちとじゃんけんをして勝った子にラムネをあげた。
ラムネをあげた子たちはみんな喜んでいて、とても嬉しかった!
- ・無料でもらうことができるバザー品の中でぬいぐるみを持ち帰ってくれる子もいた。サンリオのキティちゃんも工夫されていてキティちゃんの服装が手作りのものもあった。子どもが喜んでる姿に癒やされて私達も嬉しかった!
- ・食事を盛り付ける時の分量を間違えると足りなくなってしまうので気をつけて作業をしていました。
- ・ボランティアが終わった時に、運営者の人たちが、私達たちにおにぎりやお菓子をくれてとても嬉しかった。
- ・今回ボランティアに参加して、達成感もあってとても楽しかった!子ども食堂への理解がより深まり地域の人々と触れ合う機会となったので良かった。

食堂とはいっても、民家です



地域の方もボランティアに来ていました



子ども食堂に来た子どもとゲームをしました



アンケートを実施し、利用者の声をききました

